

② 歴史・伝統・文化に係わる学習

ふるさとの歴史や伝統、文化について学び、地域が人々の暮らしの長い積み重ねによって築かれてきたことを理解し、地域に根付く伝統文化を継承しようとする態度を育てている。4年生は、日和田（高根町）の石仏を巡り、歴史を学んだ。5年生は、秋神地区（朝日町）でワラビ粉が作られていた背景や、古くから伝わる「天狗祭り」の起源について学んだ。6年生は、日本経済を支えた飛騨の工女たちの姿から、当時の時代背景と飛騨との関わりを学んだ。

③ 産業・観光に係わる学習

地域の産業が地域の暮らしを支えていたり、地域の重要な基幹産業として根付いていたりすることを理解し、職業観や勤労観を育むとともに、職業人として生きる態度を育てている。4年生は、日和田の気候の特性を生かしたトウモロコシ（タカネコーン）作りの体験を通し、栽培方法や生産技術について学びながら生き方を考えた。また、高地を生かしたトレーニング施設（飛騨高山御嶽トレーニングセンター）を見学し、世界から有名選手が訪れることを学んだ。5年生は、秋神地区の涼しい気候を利用した大根（スズラン大根）の甘さの秘密を学んだ。

④ 人の生き方に係わる学習

地域に生きる人々と共に活動する中で、地域の人々から学んだり、地域の人々とのふれ合いを深めたりして、地域の人々の郷土に対する思いや生き方を学び、地域に貢献する意識を育てている。ふるさとを元気にしたいと活動を続けている団体「朝日ぱんぷきんず」の方から、子どもたちへ思いを伝えていただいた。道の駅ひだ朝日村で行われるイベント「ハロウィン祭り」のかぼちゃのランタン作りを全校で行いながら、郷土を大切に思う気持ちを学んだ。



(2) 活動の詳細

① 活動内容

ア. 活動分野（複数選択可）

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 環境	<input type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input type="checkbox"/> 3. 防災	<input checked="" type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input checked="" type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input type="checkbox"/> 10. 食育	<input checked="" type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他()		

イ. 活動を通して育みたい資質や能力（複数選択可）

<input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input checked="" type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input checked="" type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入)	

ウ. 活動時間（複数選択可）

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input type="checkbox"/> 5. その他(自由記述)	

エ. 使用した教材

<p>○書籍</p> <ul style="list-style-type: none">・「日本の野草」 林 弥栄著 山と溪谷社・「わたしたちのたかねむら」 高根村教育委員会・「高根村村史」 高根村史編集委員会・「飛騨の民話・唄・遊び」 鵜野祐介他 手帳舎・「朝日村史」 朝日村史編集委員会・「郷土あさひ」 朝日村教育委員会・「あゝ野麦峠」 山本茂実著 朝日新聞社刊 <p>○ウェブサイト</p> <ul style="list-style-type: none">・飛騨高根観光協会 https://www.hidatakane.com/・過疎と高齢化が進む高根村 <p>http://gakuen-net.ed.jp/~contents/tyu_shyakai/jinbutu/kaso/toumoro_koshi.htm</p> <ul style="list-style-type: none">・岐阜県立自然公園 野麦峠 峠の資料館「野麦峠の館」 https://www.hidatakane.com/shiryokan.html

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。

各学年の「郷土学習」として、総合的な学習の時間を中心とした指導計画を立てている（国語でお礼の手紙を書く指導など、一部教科の時間）。学習の内容は、地域のよさについて体験を通して知る活動と共に、ESDの視点から、地域の課題（過疎化、少子高齢化等）に少しずつ気付かせていくようにしている。

年度末（2月）に、外部講師へ学習活動の振り返りを依頼し、それをもとに指導計画や指導方法の工夫改善を行っている。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。

校内に「郷土学習推進委員会」を組織（委員長は教務主任）し、定期的（2カ月に1回）に進捗状況の確認や活動の交流を行っている。また、年度末には各学年の成果と課題を交流し、次年度の計画の検討を行っている。その結果は、年度初めの職員会の場において全職員で確認を行う。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。

学校評価（内部）の結果から、児童はより広い視野から郷土学習のよさを実感するようになったと感じる。また教員は、国際平和の実現という視点から、郷土学習、ESDの意義や値打ちを理解し、活動を展開するようになった。

外部評価は実施していない。

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。

児童の活動や学習成果は、11月に「学習発表会」で、保護者や地域の住民に向け発信している。参観者からは、以下のような感想をいただき、学習のよさを実感している。

- ・ 私たちが小学校で学んだことを、今の小学生もきちんと学んでいて、受け継がれていることを感じました。朝日に対する思いをもってくれる子がたくさんいてうれしくなりました。ありがとう。(中学3年生)
- ・ 地域の事ですが、知らないことも多く、新しい発見がありました。みなさんの元気な姿にパワーをいただきました。感動しました。(保護者)
- ・ 1年生から6年生まで一生懸命にやっていることが、本当に私たちに伝わってきてとても良かったです。大きくなっても故郷のことをいつまでも忘れずにいて欲しいと願っています。(地域の方)

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成（地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など）

特になし。今後実施に向けて検討中。

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成

特になし。今後実施に向けて検討中。

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）

地域の保全に自ら関わっていく活動（3年：山野草を守る看板づくりと設置）や、地域の産業のPRに積極的にかかわる活動（4年：タカネコーンのCMづくり）など、子どもの主体的な活動を重視して、活動を展開するようになった。

（3）平成30年度の活動計画

平成30年度も引き続き、「ふるさとに夢と誇りをもち、ふるさとに貢献する子を育て、地域に元気を生み出す学び舎」を学校理念として、ESDを郷土に貢献できる児童の育成と捉え、ESDの実践を通して地域とつながる力の育成を目標として取り組む。

具体的には、郷土愛、コミュニケーション能力、自立を柱に、①自然・環境に係わる活動、②歴史・伝統・文化に係わる学習、③産業・観光に係わる学習、④人の生き方に係わる学習を行う。

さらに、地域の課題解決に貢献する活動を広げながら、ESDについての理解を深めるとともに、他のユネスコスクールとの交流を推進していく。